

誠 實 自 然

令和3年7月5日

オンライン授業が続いています。ご家庭で工夫されながら、集中して取り組めるようにしていただき、児童生徒も頑張れていることに、感謝いたします。

先日、4年生のオンライン授業を担当させてもらいました。オンライン授業での学習のリズムにも慣れてきたところで、教科学習を行いたいところにもかかわらず、担任の先生にお願いして、1校時ずつ、4年生のみんなとPC上で会うことができました。オンライン授業が始まった5月にも実施しましたが、その時よりも、集中して参加できている姿に感心しました。

前回は、自身の名前の由来を調べてみよう。その名前に込められた思いが字となっていることを学びました。自分の名前の由来を知って、10歳となるこの1年に、10年間、10歳の感謝が届けられるようにしましょう！の時間でした。

今回は、4年生で学ぶ漢字の数が、どの学年よりも1番多いことを伝えました。202文字を新しく学習します。台湾も漢字の国で、漢字を勉強することは、色々なところで役立ちます。

202文字と聞いて漢字を覚えることに、意欲を失ってしまった児童もいたようですが、「好きな漢字1文字を教えてください。」という問題では、大変興味ある素晴らしい答えの漢字が登場しました。さすが4年生とここでも感心しました。

「好」「矢」「優」「速」「勇」「冷」「和」「機」「温」「平」「努」「鶴」「夏」「成」「健」などなど、その他にもたくさんありました。おそらく、全員の数だけ漢字があったのではないかでしょうか？自分が大事にしていること、友達のこと、好きなもの、頑張ろうとすることなどどれも前向きな一文字でした。

漢字の学習は、書き取りの回数と言われます。でも、何回書き取りをすれば覚えられるのか回数は決まっていません。漢字を覚えるには、まず読みから始めます。漢字を読めることはすごいことです。読めるようになったら、意味を調べてみます。また似たような漢字も見つけてみます。書き取りの練習はその後で、似たような字と違いを意識しながら正しく書き、熟語として使ったり、文章で覚えていくといいそうです。

一度にたくさんの漢字を覚えるのは大変です。少しずつでも毎日練習を積み重ねて増やしていくといいです。

校長先生が好きな漢字一文字は「優」ゆう・YOUです。優しいという意味ですが、優秀や優勝など、優れている様子も意味しています。人に優しくできる人が、優秀であり、強い人だと思っています。これからも、大事にしていく一文字です。